

整理番号	自由意見等（題名） 当日お聴きした意見等	（内容）	【回答】	担当課
1	津波対策について	<p>【意見・要望】</p> <p>中外沢地区は非常に海岸に近く、約500何名の方が中外沢住民としておられます。その30%が老人と言われる方々で、避難場所として遠くへ行けばいいという話がありますが、なかなかそういうことにはならないと思います。</p> <p>一色西部小学校が指定避難所になっていますが、3分の1で計算しますと402平方メートルとなり、一色西部小校区4,934名が402平方メートルに避難することになります。これはもう誰が見てもおかしいということが歴然とわかってくるわけです。だから、遠くへ行けばいいという簡単な言葉ではなくて、具体的にもっと進めてほしい。公園でもいいですから高台をつくっていただきたい。</p> <p>いざというときに避難ができずに多くの方が死んでしまう。こういうことは絶対出てくるはずで。後から、これは想定外だったとならないような対策を考えていただきたい。</p>	<p>学校が収容できる人数は、ご指摘のありましたとおり限られておりません。高須病院のあたりから始まって、一色高校、中部小学校のあたり、そして、諏訪神社の南のあたりまでが一応非浸水エリアになっておりますから、そこまでは、何としても移動していただかないといけないと思います。</p> <p>これだけの方たちを収容する、あるいは高台のところへ移動させるだけの空間をつくり出すのは、そう簡単なことではないと思います。それよりも、今申し上げたようなエリアのほうへ移動していただくのが大事なことだと思います。地震が実際に起こって水が来るまでに、おおむね1時間ぐらいあります。中外沢のエリアから国道247号まで移動していただければ、非浸水エリアのところに出られます。距離的には1キロぐらいで、通常の歩行速度で10分か15分ですが、2倍、通常かかると言われていますから、30分ぐらいの移動時間ではないかと推測をしております。</p>	危機管理課
2	公共施設の再配置計画について	<p>【意見・要望】</p> <p>業者丸投げの方針というのは少し問題があるのではないかと思います。市民が市民塾でいろいろと討議した結果、そういうものが業者にどの程度反映されていくのか。また、業者に任せると、20年、30年という長期にわたって任せるわけで、その後のメンテナンス、管理、収益、こういったものがどのように変わってくるのか。市民の意見を酌み上げながら、市政として考え方を述べていただくことを希望いたします。</p> <p>行政監査委員会というのを設けていただいて、市の中の各部署がどのように活動し、1年間の結果を出したかという監査委員会というようなものをつくって、行政の評価をできる場所をつくっていただきたい。</p>	<p>今回は、官民連携、民間の企画提案力も十分にしていこうということで、性能発注という形をとらせていただいております。</p> <p>しかし、最低限のものは入れていってほしいということで、例えば業務要求水準の中で、新しくつくる市営住宅につきましてはバリアフリーにするとか、高齢者福祉サービスの部分を設けるとかを入れておりますので、全てが丸投げではないと考えております。</p> <p>施設がある以上、運営というのは何十年も続きますので、その間について、民間企業に対して、市がモニタリングを行います。毎年毎年この事業はどこまで進んでいるんだ。この事業は市の要求に合っているかどうかという、ある意味監査といったものをやります。</p> <p>また、外部の監査、有識者とか、例えば公認会計士だとか、そういった者も入れた外部監査も行って、その辺はチェックしていくということでございます。</p>	資産経営課
3	産廃問題について	<p>【意見・要望】</p> <p>産廃場の問題ですが、これは必要悪でございます。私個人としては、やはりどこかにつくらなければいけないと思っておりますが、なぜこの養鰻場近くにあそこに産廃場を持ってこなければいけないのか。ほかに候補地はないのか。そういうことが検討されているかどうか。この辺がちょっと手薄ではないかと思います。</p>	<p>産廃をあの生田地区につくるという考えではなくて、地区には、産廃の三共資源工業という会社が以前に産廃を営んでおりました、そこが水処理を行わずに放置された状況であるということで、市としては、跡地を何とかしなければならぬということで取り組んでおるわけでございます。</p> <p>先ほどお答えさせていただいたように、産廃業者から、あの地区一帯を買収して新たな処分場をつくって、跡地を解決しようという売り込みが来たということで、それで一昨年9月の中日新聞に市が誘致しているというような記事が出てしまいましたので、市が産廃処分場をあそこに誘致したと誤解されているわけでございます。</p> <p>業者は、あくまでも提案ということで、市はその計画を受け入れたという状況ではなく、業者がそこにつくりたいという申し出をしてきているという状況であります。その業者が、現在あの周辺を先行取得で用地買収しているという状況でありまして、市が業者に対して依頼、協力を求めているという状況ではありませんので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	環境保全課

整理番号	自由意見等（題名） 当日お聴きした意見等	（内容）	【回答】	担当課
4	道路拡張について	<p>【質問】 諏訪神社の拡張の道路です。無駄遣いだと思っているんですけど、あそこに道路をつくることでどのような効果があるのか、お聞きします。</p>	<p>この道路は、都市計画法で決定しておりまして、一色町から国道23号インターを越えるところまで続く道路で、西三河南北道路という西尾でも南の地区から北へ向かう幹線道路扱いということで計画されております。県も一生懸命事業をしていただいております、合併前の一色町時代から県の事業に協力をして一緒に進めている事業であります。 この道路は、地震のときの避難道路としても重要な道路になるということでありますので、ご理解をお願いいたします。</p>	土木課
5	一色悪水路の防潮扉について	<p>【質問】 湾外から塩水と雨水が入ってくる一色悪水路という川がございます。今年、第3次地震対策プランをつくって、それに沿って工事をやりましょうということで、川の東側、下のほうの坂田地区は済んだようです。あと、川の流域に入りまして、坂田、藤江、そこら辺の工事を今回やられるようです。 そのときに、当町内会から市へ要望した件ですが、川に付随する防潮扉が高潮対策用であり津波用ではございません。「津波が来たら、もちません」というのが町内会の見解です。市に相談しても「まず、そうでしょう」ということなので、震災に対応して、防潮扉を、高潮対策じゃなくて地震対策用に見直してほしいということで、市の河川港湾課にお話しをさせていただいております。県は、第3次地震プランの中に入れたという話ですが、具体的な話がありましたらお聞かせください。</p>	<p>私どもも詳しい計画はまだ聞いておりませんが、この第3次アクションプランは、今後9年間をめどに完成させるという計画で策定されており、基本的に9年以内という目標を持っていただいておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>	河川港湾課
6	公共交通機関について	<p>【意見・要望】 西尾市内は「くるりんバス」が走っていますが、合併してから約3年、一色町は一向に変革がありません。別に大きな「くるりんバス」を走らせなくても、小型の8人乗りぐらいのワンボックスカーを走らせていただいて、途中経由で接続という考えは無理でしょうか。 高齢社会が進んできますと、認知症の対策とかで、免許証のなくなる方がどんどんふえてきます。そしたら、移動が本当に困難な時代が来ると思いますので、早くにそういった対策を早目にとっていただきたいと思います。</p>	<p>公共交通につきましては、地域において協議会を立ち上げていただいて、例えば「くるりんバス」を通すのか、今おっしゃられた小型の8人乗りぐらいのワンボックスカーとか、デマンドタクシーにするのか、いろんな方法があると思いますが、そういったことについて地元の方のご意見をまとめてくださいとお願いしております。そして、そういったものを我々のほうでまとめて検討していくという形でやっております。先般もご意見いただいております、なるべく皆さん方のご意向に沿うような形で検討してまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>	地域支援協働課
7	公共施設の再配置に伴う高齢者施設について	<p>【意見・要望】 市役所支所跡地の有効利用としての高齢者施設について、民間経営を考えているのか、それとも今のような社会福祉協議会管轄を考えているのかをお聞きしたいと思います。民間経営と社協がやっている高齢者施設の機能というのが本当に違うんですよね。営利を目的とした企業のやっているデイサービスと、そうじゃなくて、本当にプライマイゼロぐらいの形でやっている施設のあり方というのは、本当に比較対象をつぶさに見せていただいています。 そこで感じるのが、社協経営のデイサービスのあり方というのはやっぱり必要だなと思います。この老人福祉センターがなくなることについて、いろいろ皆さん危惧されている面もあります。健康寿命を考えて、在宅で1人でも1日でも長く生活していくための相談場所にもなりますので、健康な老人をふやすためにも、立派な老人福祉センターという形で入れてくだされば、少しは留飲が下がるかなという感じではありますので、よろしくをお願いいたします。</p>	<p>社協も一応その中の候補にはなっております。社協が入るか、ほかのところが入るかというのは、今の段階ではわかりませんが、社協が入れないということではありませんので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	資産経営課

整理番号	自由意見等（題名） 当日お聴きした意見等	（内容）	【回答】	担当課
8	一色支所の耐震結果について	<p>【質問】</p> <p>庁舎の耐震工事が17年、18年において5億5,000万円かけてなされているということですが、当時、5億5,000万円というお金をかけて耐震工事をしたという、そのいわゆる工事、業者は、何らかの答えを出していると思うのですが、その当時の耐震工事にかかわる耐震結果、これはどのように残されているか、発表をお願いいたします。</p> <p>何のために5億5,000万円をかけて耐震をやったのか。当然、業者は、ある程度、責任を持って答えを出していると思います。その辺の答えをお聞きしたいと思います。</p>	<p>当時の調査におきましては、コンクリートの中性化は相当進んでおりました。また、鉄筋の位置まで達していることを確認しておりますが、構造的には問題ないということで、耐震改修を行ったということになります。</p> <p>耐震工事と長寿命化というのは別物でございます。耐震工事というのは、耐用年数まで安全に使用ができるという工事でございます。長寿命化というのは、耐用年数を超しても、まだ耐用期間を保つという工事でございます。当時やったのは、耐用年数までもつと、例えば一般的に言えば、庁舎の外に枠をつけたというような工事でございます。</p> <p>したがって、それと長寿命化工事というのは全然別個のものだということになりますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p>	資産経営課
9	企業誘致の候補地について	<p>【質問】</p> <p>地域振興ということで、企業誘致を進めているということですが、この企業誘致の候補地があれば教えてください。まだ発表できないかわかりませんが、多分あるはずですので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>企業誘致の候補地でございますが、現状として、市で独自に整備している土地はございません。県で整備した土地といたしましては、一色地区の西側にあります14号地が若干あいている状況でございます。</p> <p>企業誘致につきましては、現状として、土地を市が開発して民間に売るという方式ではなく、あくまで民間主導で開発をしていただき、また、市は、開発の可能性のある土地についてご紹介させていただき、進出企業に対する税の支援とか、そういう形でバックアップをさせていただいている状況でございます。</p>	企業誘致課
10	津波対策と津波対策協議会について	<p>【意見・質問】</p> <p>前提として、家が倒れてない、家具が倒れてない、救出救護が必要でない、そういう中で、住民が全てそこから逃げるという前提において50何分という時間はあります。しかし、一方で、1万5,000棟が全壊するわけですよ。とりわけこの液状化の高いところでは、当然、救出救護をします。50何分という猶予時間の考え方を、私、捨てていただきたいなと思っております。だからこそ、高台が欲しいということでもあります。</p> <p>また、津波対策協議会では何を話しているのですか、お聞かせください。</p>	<p>とにかく、いかなる状況においても、自分が、水が来ないところへ逃げることが大切なことではないかと思っております。</p> <p>なお、津波対策協議会については、現在休止しております。担当と相談して進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>	危機管理課
11	自転車の通行について	<p>【要望】</p> <p>自転車のルールが変わりまして、いろいろと難しくなったのですが、247号の車道を走ろうと思えば、とてもじゃないが怖くて走れません。自転車レーンをカラーにしてくださいとか、歩道のアップダウンぐらいいは、転ばないように、スムーズに直していただきたいと思っております。</p>	<p>ご指摘の国道247号は、愛知県の管理となっておりますので、もしピンポイントで、そういうアップダウンで悪いところがありましたら、市の土木課へ工事要望書を提出してください。市から県へ取り次ぎさせていただきます。</p>	土木課
12	災害時の行動について	<p>【質問】</p> <p>先ほどの回答で、緊急の場合に、人を見捨てて自分だけ助かれば良いみたいな言い方をされましたが、それは、市長も同じ考えなんですか。</p>	<p>今、地震のアドバイザーとして、片田教授、釜石の奇跡。あそこは本当に死者が少なくて済んだと。この方の教えは、とにかく自分は逃げろと、それが基本でございます。そこが一番被害が少なかった。死者が出る数が。そういう実例を恐らく申し上げたと思っておりますが、確かに、人のことを心配するのは、これは人情でございますが、やはり一人でも犠牲者を出さないということは、自分がまず助かなければいけないと、そういうことだと思っております。いざとなったときに、どう行動できるかということが、ふだんの訓練が一番大切かと思っておりますので、そういった訓練をとにかく、絶えずしていると。それが平生の心がけだと私は思いますので、ひとつよろしくご理解をいただきたいと思っております。</p>	危機管理課